



近畿大学病院 がんセンター がん相談支援センター

〒589-8511 大阪狭山市大野東377-2
TEL : 072-366-7096 (直通)



がんが見つかった。
困ったな・・・
誰に相談したら
いいんだろう？



がんセンター がん相談支援センター

私たちと一緒に、
考えてみませんか？
相談員がサポート
させていただきます。

治療のこと、生活
のこと・・・
どこに相談したら
いいんだろう？



目次

- ①「がん相談支援センター」はどのようなところ？
- ②がん相談支援センターの支援内容
 - 具体的な相談支援について
 - 相談支援に携わる職種の紹介
- ③がんの治療と暮らしを支える
 - がん治療と暮らしの両立支援
 - がんと経済的支援
- ④がんゲノム医療について
 - サポート体制
- ⑤アピアランスケア（外見ケア）
 - ウィッグなどの展示と情報
 - アピアランスケア相談
- ⑥がん情報コーナー
 - がんの冊子・パンフレット類の展示
 - がんに関する図書の閲覧と貸出
- ⑦がん患者とご家族への支援
 - リボンの会レクチャー＆サロン
 - ともに生きる会
 - がん患者教室

ご案内

相談受付	月～金曜日 9:00～16:30 *土・日・祝日・年末年始を除く
対 象	がん患者・家族の方など
相談方法	・電話、面談でのご相談に対応します ・相談時間：1人30分
相談場所	病院棟2階 患者支援センター内 がん相談支援センター 相談室
相談費用	無料
電話番号	072-366-7096（直通） 予約は電話にて受け付けております。 予約が入っている場合は予約の方を優先 となりますが、直接お越しいただくこと も可能です。

*相談に当たり主治医の許可は必要ありません。
*プライバシーは厳守いたしますので、安心してお気軽にご相談
ください。

—参考・引用資料—

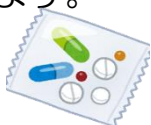
- ・国立がん研究センター がん情報サービス <https://ganjoho.jp>
- ・国立がん研究センター がん情報サービス がんの冊子
- ・がんと仕事のQ&A 第2版 がん情報サービス
- ・がん患者のアピアランスケア
(国立がん研究センター中央病院 アピアランス支援センター)

近畿大学病院 がんセンター
がん相談支援センター 編集・発行
2020年4月1日 第2版

⑦ がん患者とご家族への支援

ともに生きる会

患者・ご家族向けに、
専門の医師や看護師・
薬剤師・栄養士等が、
がん治療の最新情報を
レクチャーしています。
(年間6回開催)



注：開催日時・テーマについては、
ポスター・ホームページでご確認下さい

近畿大学病院 がんセンター主催
第〇回 ともに生きる会

(仮)最新の話と近畿大学病院の取り組み

私たち、病院スタッフとがん患者さまに寄り添うことには喜び、ともに生きていくことを目指しています。今後も平成30年からは、〇年目を迎え、通算〇回目の会となります。病闘の最中での治療や休職のご都合を、皆さまにがん治療について詳しく知っていただく機会を、多数のご参加をお待ちしております。

[日時] >>> 平成〇年 〇月〇日(木)
14:00~15:00

[会場] >>> PET棟3階 大会議室

※ 参加申込み不要、当日会場にお越しください。

がんとお金の教室

ソーシャルワーカーが社会福祉
の専門の立場から治療費に伴う、
経済的な不安を軽くする、
社会資源の上手な活用方法に
ついて紹介します。

- ・高額療養費制度
- ・傷病手当金
- ・障害年金
- ・雇用保険 ……等

注：開催日時・テーマについては、
ポスター・ホームページでご確認下さい

近畿大学病院 がん相談支援センター主催
がんとお金の関係

「いざという時！
頼れる社会保障制度を
知っていますか？」

場所：PET棟 3F 小会議室

内容	開催日時
あなたの医療費が ① 高額にならない為にも ～高額療養費制度～	開催予定。詳細については、ポスター・ホームページをご確認ください
病気休業中に ② あなたの生活費を支える ～傷病手当金～	
病気休業中に ③ あなたの生活費を支える ～傷病手当金～	
あなたの医療費が ④ 高額にならない為にも ～高額療養費制度～	

※ 本会の第1回・第4回と第2回・第3回の開催内容は同じ内容となっています。
＜問い合わせ＞ 近畿大学医学部附属病院 がん相談支援センター（担当 竹内）
TEL: 072-366-7096(直通) 時間：月～金曜日(10時～16時)

・予約不要でどなたでも参加できます。(当日参加可能)
・当会終了後、個別相談も可能です。
※秘密厳守
・参加費用は無料です。

① 「がん相談支援センター」はどのようなところ？


- 全国の「がん診療連携拠点病院」「小児がん拠点病院」「地域がん診療病院」に設置されている、がんに関するご相談の窓口です。
- 当院で治療中の方、その他の施設で治療中の方、患者さんやそのご家族など、どなたでもご利用いただけます。
- 相談いただいた内容があなたの同意なしに他者に知られることはありません。主治医の許可は必要ありません。また、匿名での相談も可能です。
- 「相談すると担当の先生が気を悪くするのは」と心配される方もいらっしゃるかもしれませんが、そんな時は、その不安も含めて相談員にお話し下さい。

* 右記、リーフレットも一緒に
ご覧下さい。



② がん相談支援センターでの支援内容

具体的な相談支援について

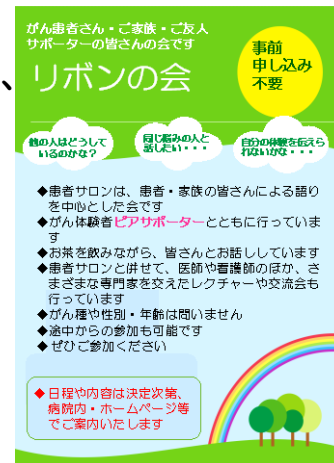
検査・治療	医療者とのコミュニケーション	身体の症状
<ul style="list-style-type: none"> 自分のがんや治療について詳しく知りたい 担当医から提案された以外の治療法について考えたい セカンドオピニオンって何？ 将来子どもをもつことができるか心配です 	<ul style="list-style-type: none"> 担当医からの説明がよくわからない 質問したり、希望を伝えることができない 何を聞けばよいかわからない 	<ul style="list-style-type: none"> 痛くなったり眠れなくなった時に、どうしたらいいかわからない 治療の副作用が心配、対処方法を知りたい
社会福祉制度	療養生活について	
<ul style="list-style-type: none"> 活用できる社会福祉制度、介護・福祉サービスを知りたい 仕事や育児・家事のことで困っている 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅を含めて、療養できる場所を考えたい 治療の副作用や合併症と上手につきあうには？ 	

⑦ がん患者とご家族への支援

リボンの会 茶話会なごみ

◆リボンの会

2カ月に1回、がんや治療のこと、治療の副作用や暮らしの工夫について、医療従事者をはじめとする専門家がテーマに応じたレクチャーや体験を行っています。

がん患者さん・ご家族・ご友人 サポーターの皆さんの会です

事前申し込み不要

誰の人はどうしているのかな？

同じ悩みの人と話したい...

自分の体験を伝えたい...

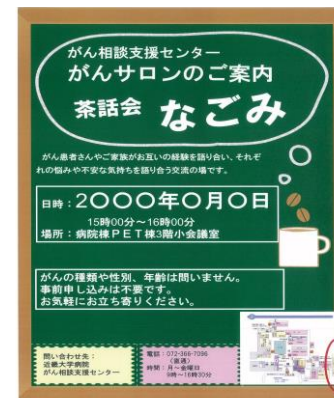
- ◆患者サロンは、患者・家族の皆さんによる語りを中心とした会です
- ◆がん体験者ピアサポーターとともに開催しています
- ◆お茶を飲みながら、皆さんとお話しています
- ◆患者サロンと併せて、医師や看護師のほか、さまざまな専門家をお招きしたレクチャーや交流会も開催しています
- ◆がん種別や性別・年齢は問いません
- ◆途中からの参加も可能です
- ◆ぜひご参加ください

◆日程や内容は決定次第、病院内・ホームページ等でご案内いたします

◆茶話会なごみ

毎月1回、がん体験者やピアサポーターの方と協力し、患者・家族の皆さんが集い、お茶を飲みながら話ができる、語りの会を開いています。治療前・治療中や治療後など立場は様々ながらも、その悩みなどを語りあえる場となっています。

皆様、どうぞお気軽にご参加ください。



がん相談支援センター
がんサロンのご案内

茶話会 なごみ

がん患者さんやご家族がお互いの経験を語り合い、それぞれの悩みや不安な気持ちを語り合う交流の場です。

日時：2000年0月0日
15時00分～16時00分
場所：病院棟P.E.T棟3階小会議室

がんの種類や性別、年齢は問いません。事前申し込みは不要です。お気軽にお立ち寄りください。

問い合わせ先：がん相談支援センター
電話：02-368-7556
受付時間：月～金曜日 9時～17時30分

注：開催日時・テーマについては、ポスター・ホームページでご確認ください

⑥ がん情報コーナー

がんの冊子・パンフレット類の展示



がん情報コーナーでは、国立がん研究センターがん情報サービス等で発行している各種がんに関する冊子やパンフレット、院内主催の公開講座や患者サロン・患者教室のお知らせを設置しています。

ご自由にお持ち帰り下さい。

2階 エスカレーター横

設置しているもの以外の冊子やがんに関する様々な情報については、がん相談支援センターへお立ち寄り下さい。



2階 通院治療センター前

がんに関する図書の閲覧と貸出



がんに関する図書の閲覧・貸出をしています。ご希望の方は、通院治療センター受付にお声かけください。

お気軽にご利用下さい。

2階 通院治療センター前

② がん相談支援センターでの支援内容

例えば、こんな相談ができます

社会との関わり

- 病気について職場や学校にどのように伝えればいいのか…
- 仕事を続けながら治療はできるだろうか…

心のこと

- 落ち込んでつらい…
- 誰かに気持ちを聞いてもらいたい
- これからどうしたらいいのかわからない

緩和ケアについて

- 緩和ケアって何？
- 緩和ケアはいつから受けるの？
- 治療を受けながら緩和ケアを受けるにはどうしたらいいのか？

がん予防や検診

- がんの予防方法ってあるの？
- がん検診の申し込みはどこでできるの？
- がん検診を受けて再検査が必要と言われ心配です

家族のこと

- 家族にどう話したらいいのかわからない…
- 家族ががんと診断されてどうしたらいいのかわからない…

まずは
がん相談
支援センターに
ご相談下さい



② がん相談支援センターでの支援内容

相談支援に関わる職種の紹介

国立がん研究センターの研修を修了した、看護師・ソーシャルワーカーが、相談員として対応しています。

- がんという病気や治療に関する一般的な情報提供を行い、療養に必要な情報収集をサポートします。
- がん治療の選択について迷った時、疑問に思った時には必要な情報を伝え、納得して決めるためのサポートを行います。
- 診断結果を待っている間・診断直後に何を相談したら良いかわからない時は、それらを整理することからサポートします。
- 治療開始前・治療中・治療後も、病気や今後に対する不安や気がかりなど、気持ちの整理をお手伝いします。
- 診断時からの緩和ケアについて、苦痛を緩和する方法を一緒に考えます。
- 医療費の負担や仕事を継続するための情報提供を行います。
- 病院や在宅など、療養場所の選択についてサポートします。

がんゲノムコーディネーター、
両立支援コーディネーター、国立がん
研究センターアピアランス研修を修了
したスタッフが相談に対応しています。



⑤ アピアランスケア



アピアランスケアとは……

がん治療（手術・薬物療法・放射線療法など）に伴う外見変化を、医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者さんのつらさをやわらげるケアです。

例えば……このようなときに、ご相談ください

- ・実際にいつ頭髮の毛が抜けるのか、どの程度抜けるのか不安。
- ・どんな症状が出るのか、どう対処していいのかわからない。
- ・治療前に準備できることはしておきたい。
- ・手術後のイメージができず、治療法の選択に悩んでいる。
- ・治療は受けようと思っているが、外見が変わるのは不安。

アピアランスケアの目的は、**その人がその人らしく生きること、社会と繋がること**をサポートすることです。

患者さんが、安心して治療に専念し、療養生活がおくれるよう、対応方法などについて相談員と一緒に考えます。



- ・ウィッグ、ケア帽子は実際にお試しいただけますので、お気軽にお立ち寄りください。

*販売はしておりません。

- ・アピアランスケアに関する相談会などのお知らせは、ポスター、ホームページでご案内いたします。



④ がんゲノム医療について

がん相談支援センターでのサポート体制

がん相談支援センターでは、正しい情報提供を行い、がんゲノム医療を受けることを含めた、これからの治療について、一緒に考えサポートします。

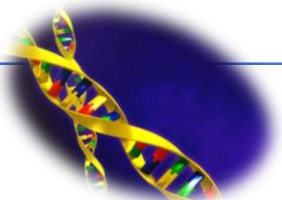
●相談者がイメージしているがんゲノム医療について確認します。

- 検査の対象となるがんの種類や進行度についてご存知ですか
- 検査にかかる費用はご存知ですか
- 検査する遺伝子の種類はご存知ですか
……等



●がんゲノム医療の目的、検査方法、結果の取り扱いとのその後の薬物療法での治療、受診方法について必要時は、検査担当医師と連携をはかりながら個別にご説明します。

●がんゲノム医療を受ける経過に応じて、必要時には、一定の研修を受けた、がんゲノム医療コーディネーターが対応します。



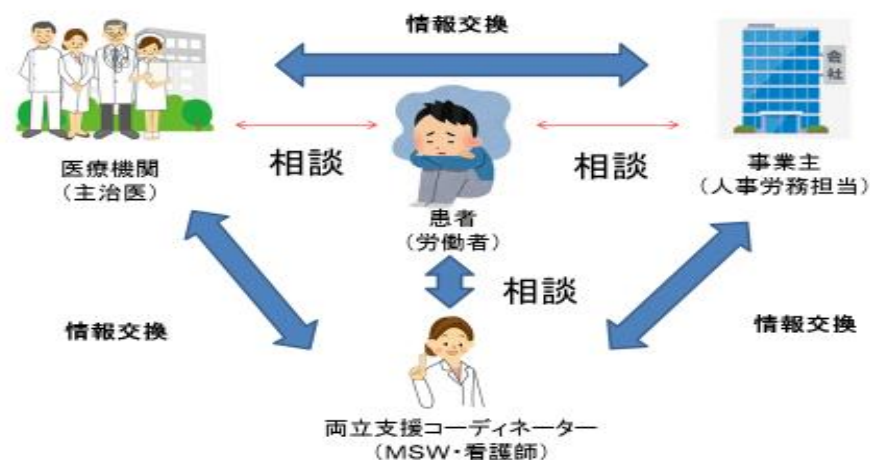
③ がんの治療と暮らしを支える

がん治療と暮らしの両立支援

がん治療の医療技術の進歩に伴い、がんの診断を受けても、毎日の暮らしは続きます。診断を受け止め、治療の選択を考えていく時期に、多くの方は仕事の引継ぎや様々な生活の段取りにも直面します。治療がある程度一段落したあとも、職場復帰や経済的な問題などについて悩む方は少なくありません。

平成28年 厚生労働省より「治療と職業生活の両立支援のガイドライン」が公表され、がん患者に対する両立支援を実施しています。

がんと診断されてもすぐに仕事をやめる必要はありません。やめる前にまずご相談ください。



※近畿大学病院では両立支援コーディネーター基礎研修の修了者が3名います。
(令和2年4月1日 現在)

③ がんの治療と暮らしを支える

がんと経済的支援について

がんと診断され治療の為に、仕事のペースを落とさないといけなくなり、収入が不安定になることがあります。また、今までの生活費に治療費が重なることで、経済的に負担を感じる方も少なくありません。

そのためにも医療費の負担を軽くする仕組みや支援制度（高額療養費制度、傷病手当金、障害年金など）の活用などについて、知ることが大切になります。

例えば……こんな時に

- 仕事を休んでる間、生活費や治療費どうしよう？
- 利用できる制度はあるのか？
- 職場に迷惑をかけてしまうんじゃないか？
- 治療をしながら仕事を続けるのは無理じゃないか？
- 仕事をやめないとだめかな？
- 職場に病気のことどこまで話したらいいのか？
- 治療しながら仕事と家事（育児）ができるのかな？
- がんになったら気力・体力的に働けないだろうか？



治療が始まる前に、
相談員（看護師・ソーシャルワーカー）
一緒に考えてみませんか！

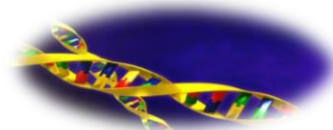
④ がんゲノム医療について

がんゲノム医療とは

現在の医療では、身体からがん組織を採取し、その遺伝子を調べることによって、そのがんの特徴を知ることができます。既に、いくつかのがんでは、遺伝子の変化について個別に検査し、その結果に応じた薬剤での治療が行われています。

このようにがん毎の遺伝子の変化を明らかにし、解析結果に即した医療を行うことを「がんゲノム医療」といいます。

「がんゲノム医療」は、がんの種類や病状によって、すべての方が受けることができるとは限りません。また、解析結果によっては、その後の薬剤での治療が確立していなかったり、研究段階の場合もあります。



がんゲノム医療の情報提供の現状

新聞やインターネットでは、聞きなれない用語が飛び交い、患者さんは自分が検査を受けるにはどうしたらよいか、わからないという現状が予測されます。

